

第 56 回 森ノ宮医療大学大学院 学術セミナー

Moxafrica ホームページより (<http://www.moxafrica.org/>)



(moxafrica 活動報告)

ウガンダでの結核に対する 灸臨床試験結果報告



講師： マーリン・ヤング先生 (Moxafrica 代表理事)

日時： 2016 年 11 月 1 日(火) 17:00~18:00

場所： 本学 East Port 講堂

10 月に新しくできた講堂! 学内外のどなたでも無料です

イギリスの登録チャリティ団体「モクサアフリカ」は、薬剤耐性結核と HIV/AIDS の複合感染に対して、医療資源の乏しい国や地域で代替療法として利用する研究をしています。アフリカでの活動内容とウガンダで実施された臨床試験の結果を報告していただきます。



マーリン・ヤング (モクサアフリカ代表理事, 英国鍼灸師)

1999年にCollege of Traditional Acupuncture (UK)卒業。その後、集中的に日本の鍼灸を研究する。ハイチとベールでのポール・ファーマー博士の業績にであった後、彼は特に結核に対する薬剤耐性と世界的な医薬の政治とのその関係というテーマに興味を持つ。2008年にモクサアフリカという慈善団体を共同で設立し、日本で行われてきた透熱灸が結核、薬剤耐性結核、そして結核と併発するHIV/AIDSまでに対抗できるか、徹底的に調査を始めた。著書にBlowing in the Wind、The Moon over Matsushima - Insights into Moxa and Mugwortなどがある。



伊田屋 幸子 (Yuki, モクサアフリカ 理事・日本事務局、米国鍼灸師/通訳)

Emperor College (USA)卒業。その後Oregon College of Oriental Medicine(USA) を卒業しDOMを取得。National University of Natural Medicine (USA)のMaster of Integrative Medicine ResearchおよびGlobal Healthでお灸やM-Testを教える (非常勤講師)。水谷潤治氏、向野義人氏らに師事する。M-Test USA の責任者であり、Moxafrica の理事を務める。